

9月21日(月)

プログラム1 13:00~ 開会式

<フラメンコギターの祭典発表演奏会> (順不同)

<出場者>	<曲目/作・編曲者/形式など>
Robert Palazuelos (独奏)	グラナイーナス
山上 高之 (独奏)	タンゴ
羽山 定克 (独奏)	ファルーカ/パコセラノ
須藤 哲史 (独奏)	グラナイーナス
富森 秀直 (独奏)	アストリアス/アルベニス
野場 直樹 (独奏)	ブレリアス/トマティ
岸本 契子 (独奏)	幻想のロマンス/吉川二郎編曲
真下 尚重 (独奏)	ブレリアス/パコデルシア
菊地 勝彦 (独奏)	グァヒーラ

プログラム2 17:30~

<記念演奏会 三澤勝弘/池川兄弟>



<三澤勝弘(みさわかつひろ)ギタリスト>
中学時代より独学でフラメンコギターを始める。
1966年上京し、伊藤日出男に師事すると共に労音等の公演及び都内のクラブなどで演奏活動を開始する。
1969年スペインにてニーニョ・リカルドに師事する。
主な活動に「炎と魂の邂逅」「スパニッシュ・カクテル」「青の綺想曲」などがある。

<池川兄弟(いけがわきょうだい)ギタリスト>

ラテン歌手である父の影響で兄6歳、弟5歳のときにフラメンコギターを高橋秀男に師事。中学の頃より、フォーク・クラシック・ジャズ・ラテンなどさまざまなジャンルの音楽を経て、大学時代より再びフラメンコギターに戻り、伊藤日出夫、東権正男に師事。2002年夏、「フラメンコギターデュオ池川兄弟」結成。ライブハウスやイベントなど数多く出演する。



プログラム3 19:30~

<交流パーティー>

心ゆくまで、楽しんで下さい。飛び入り演奏など大歓迎です!

場所:ギター文化館 喫茶室



9月22日(火)

プログラム1 10:00~

〈フラメンコギターのおはなしと演奏〉 伊藤 日出夫(ゲスト) 伊吹吾郎



〈伊藤日出夫(いとうひでお) ギタリスト〉

1932年 京都一中、西京高、甲南大学経済学部卒。中学三年より独学でギターを学ぶ。1949年フラメンコギターを日本のパイオニアとしてプロ活動を始める。1955年上京。日本初のクアドロフラメンコを結成。無数の国内国外の公演のかたわら、レコード、カセット、教則本、曲集など多数出版。後進の育成にも力を入れ、現在活躍中の一流フラメンコギタリストを多く育てた。1990年日本フラメンコ協会副会長に就任。南スペイン芸術協会客員、(財)日本スペイン協会ギター講師、NHK文化センターのギター講師も勤めたが、1997年より、中国各地にて演奏をつづけ、フラメンコの普及に中国全土をかけめぐっている。北京青少年文化教育センター名誉教授。中国フラメンコギター普及協会会長。

プログラム2 11:00~

〈講演と演奏〉 吉川 二郎/野口 久子(二重奏共演)



〈吉川二郎(よしかわじろう) ギタリスト〉

1951年大阪生まれ。関西学院大学卒業。15才よりギターを始める。1977年、スペインに渡りフラメンコギターの巨匠マヌエル・カーノに師事。1988年全曲オリジナルのフラメンコ曲を収録のCDアルバム『迷路』を発表。以後『夢の窓』『月の宮古』『雪女』『めのう岬』『星の物語ーオリオンの伝説』『スペインの魅惑』を発売、2006年には、朗読の小林一恵と渾身の共演で『高村光太郎「智恵子抄」より』と、クラシック音楽を題材にした曲を多く取り込んだ『扉をあければ』を連続して発売するなど積極的な創作演奏活動を続ける。1998年にスペインで発刊された「フラメンコ大百科事典」に、日本を代表するフラメンコギタリストとして紹介されている。2003年、兵庫県川西市民文化賞受賞。

〈野口久子(のぐちひさこ) ギタリスト〉

尼崎市出身。関西学院大学卒業。1986年から吉川二郎に師事。スペインでホセ・マヌエル・カーノにレッスンを受ける。1998年から吉川二郎の2重奏のパートナーとして活動。CD『星の物語』『スペインの魅惑』『扉を開ければ』の録音に参加。

プログラム3 13:00~

〈フラメンコギターの祭典発表演奏会〉(順不同)

〈出場者〉

〈曲目/作・編曲者/形式など〉

野原 富男(独奏)	アレグリアス/サビーカス
堀尾 満(独奏)	コロンビアーナス/山崎まさし
水留 亨(独奏)	ファルーカの変奏/三好保彦編
中島 桃子(独奏)	アレグリアス/中島桃子編
平井 良正(独奏)	アーモンドの小径/吉川二郎
大場 俊郎(独奏)	ペネテーラ
岸本契子(ギター)/岸本洋司(コントラバス)	

二人のリアソール(ファルーカ)/吉川二郎

閉会